

三重教務所通信

2023

4月号



発行人:三重教務所長 安田 雅
〒511-0073 桑名市北寺町 47 教務所開所時間 平日 9:00~17:00
☎:0594-21-8000 FAX:0594-21-8010

✉ 三重教務所 E-mail mie@higashihonganji.or.jp
桑名別院本統寺・三重教区HPアドレス <http://mie-betsuin.com/>



○ 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要について

先月3月25日より、宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要が勤まっています。法要の日程や各種行事催事については、宗派ホームページ

[東本願寺ホームページ](#) ➡ [慶讃法要特設サイト](#)

に掲載していますので、ぜひご覧ください。

1 慶讃法要インターネットライブ配信のご案内

慶讃法要（第1期・第2期）は、毎日、「東本願寺公式 YouTube チャンネル」にて法要のインターネットライブ配信を行っていますので、ぜひご覧ください。

【配信日程】

●第1期法要：3月25日（土）～4月8日（土）

●第2期法要：4月15日（土）～4月29日（土）

※各日の法要時間は、「日程カレンダー」または「参拝のしおり」でご確認ください。

●師徳奉讃法要：4月1日（土）10:00～

●全戦没者追弔法会：4月2日（日）9:30～

●相続講員物故者追弔会兼帰敬式受式物故者追弔会：4月3日（月）10:00～

●公開講演会『教行信証』（坂東本）：4月13日（木）14:00～

【配信】

YouTube「東本願寺公式」チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCLPB2H1qV_1BjH1KAVizZfA

【お知らせ】

- ・ 日程開始の20分前から配信を開始します。（一部法要・行事を除く）
- ・ 配信 URL は毎日（毎座）異なります。YouTube「東本願寺公式」チャンネルのトップページよりご確認ください。
- ・ 配信が途切れた場合は、YouTube「東本願寺公式」チャンネルのトップページに再度アクセスしてください。
- ・ 法要は、阿弥陀堂・御影堂を切り替えながら配信しますが、法話や挨拶等は御影堂の様子を配信します。



慶讃法要初日（3/25）



【4月29日（土）解説付 特別番組放送のご案内】

慶讃法要の最終日である4月29日（土）は、法要前に慶讃法要のこれまでのをふり返りつつ、参堂列の配信は、真宗大谷派僧侶による解説付でライブ配信を行います。

ぜひ皆さまとともに、最終日（結願）をお迎えしたいと思います。

ライブ配信にてご参加ください。

◇日時 2023年4月29日（土）10：30頃～配信予定

※ 配信開始時刻は前後する可能性があります。

三重教区合唱団「ひかり」が出演する音楽法要曲「回向」の動画が次のとおり配信されますので、ぜひご覧ください。

日時：4月 1日（土）15時頃

4月16日（日）11時40分頃 ※いずれも法要日程終了後。

2 一般参拝について

教区内各組においては、団体参拝計画がされる中、既にお参りいただいた方もいらっしゃると思いますが、都合により組の団参にご参加いただいていないなど、まだ、一般参拝（指定席）【参拝日の10日前まで】を申し込むことが出来ますので、ぜひ法要にお参りいただきますようご案内いたします。

【申込にあたって】

- ・空席がある日に限り、先着順にてお受けします。

空席状況は、[東本願寺ホームページ](#)→[慶讃法要特設サイト](#)→[参拝について](#)

→[一般参拝（指定席）のお申込](#)

→[空席状況はこちら（参拝席・お斎・慶讃寄席）](#) でご確認ください。

- ・参拝席の指定はできません。
- ・参拝席・お斎・慶讃寄席セットでのお申込も可能です。（空席がある場合に限る）

※「お斎のみ」「慶讃寄席のみ」の申し込みもお受けできます。

【申込方法】

「一般参拝申込書」（上述のホームページ内からダウンロード出来ます。）に必要事項を記入のうえ、団体参拝受入センター（下記）へメールまたはFAXにてお申込ください。

【申込・お問い合わせ】 団体参拝受入センター

TEL 075-371-9212 / FAX 075-371-9204

桑名別院 慶讃法要団体参拝（4/19・水）について

来る4月19日予定の「桑名別院 慶讃法要団体参拝」について、バスに若干余裕がありますので、この機会にぜひご参加くださいますようお願いいたします。

※ 詳細は、同封の『ご坊さんだより』を参照ください。

【第1期法要】2023年3月25日（土）から4月8日（土）まで〈15日間〉

【第2期法要】2023年4月15日（土）から4月29日（土）まで〈15日間〉

【讃仰期間】2023年4月9日（日）から4月14日（金）まで〈6日間〉

○ 公開講座「ジェンダー問題学習会」開催

3月8日に「ジェンダー問題学習会」を開催し、藤場芳子氏（金沢教区常讃寺・女性室元スタッフ）に出講いただいた。

会場（同朋会館）とオンラインを併用しての形態で実施したところ47名の参加があり、教区外からも多数アクセスいただいた。

講義では、はじめに「ジェンダー」とは「いつの間にか身につけてしまった“らしさ”」のことであり、私たちはその“らしさ”に縛られた社会にしながら「差別している方もされている方も身近にありすぎて気づかない」ことの問題が指摘された。

「らしさ・普通・当たり前」という枠におさまって生きることが「社会的な常識」とされる日常にあって、その枠から一步出ることによって本当の「自分らしさ」と出会えていくはずなのに、世間はそれを「枠からはみ出た者」として排除し、「くせに」と言って揶揄している（男のくせに・女のくせに）。さらに問題なのはこれが「無意識に」「悪気なく」行われていることだと語られたことは印象的で、日常におこる様々な事例を交えて語っていただく中で、見過ごされてきた差別と偏見は、私たち自身の無意識下にも深く根ざしているという事実と向き合わせていただいた。



講師の藤場芳子氏

当初よりこの学習会は「ジェンダー問題」を「私自身の問題」として掘り下げられていくような「問題意識を深める場」となることを願って計画されたものであったが、講義で指摘された問題のありかはそれこそ「当事者は私である」ということが置き去りになっていないか、というところにあった。

また、学習会の副題は「あなたには隣にいる人が輝く人として見えていますか？」とされていたが、これに対しては、「私」という根本問題を知らずに隣の人が輝いて見えることはなく、その私の姿を偽りなく映してくださるのが「経教の鏡（善導大師）」であり「あなたの隣にいる大切な存在（善知識）」なのだとすることを丁寧に説いていただいた。



班別座談会

講義後の班別座談・質疑応答では参加者からの活発な意見が出され、日程の最後には講師からの「研修会や学習会という貴重な場が、ともすれば知識を得るためだけのものになっていませんか。自分にとって都合の悪いことや見たくないものもしっかりととらえ、皆と話し合い、私の問題としてしっかりと持ち帰っていただきたい」との願いが述べられ、各々がしっかりと課題をいただいた時間となった。

なお、当日は図らずも「国際女性デー」と重なり、持ち帰った課題と国際社会からの報道を通して「ジェンダー」ということを強く意識づけられる一日となった。

（社会教化小委員会委員 長崎 直）

○ 同和問題に取り組む三重県宗教教団連帯会議(三重同宗連)後期研修会開催―「差別と人間を考える」協議会の現地研修と兼ねて―

去る3月9日から10日の1泊2日にて、同和問題に取り組む三重県宗教教団連帯会議(三重同宗連)後期研修会が開催され、5教団30名が参加した。(三重教区からは22名参加)

当研修会に先立ち、「全国水平社創立100周年―水平社宣言から学ぶ―」をテーマに、前期研修として昨年7月7日に黒川みどり氏(静岡大学教授)を迎え事前学習を行っている。

1日目、奈良県御所市柏原の「水平社博物館」を訪れた。「水平社博物館」は、1986年水平社発祥の地、奈良県御所市柏原で地区改良事業が着手され景観が変貌するにつれ、水平社魂の希薄化が危惧される時代の中、水平社創立者たち(西光万吉、坂本清一郎、駒井喜作、米田富)をはじめとして多くの名もなき諸先輩が差別に抗して生きてきた事実を掘り起こし、その残した足跡を保存していくことの重要性を感じ建設された。「水平社博物館」は、昨年3月にリニューアルオープンされ、魚人差別などの人種差別が描かれている漫画『ONE PIECE』も展示に盛り込まれ、子どもたちも研修しやすいように工夫されている。

このたびフィールドワークで周辺を見学したが、かつてこの土地の主産業であった膠(にかわ)工場が数多く建ち、西光寺の周辺に被差別部落の家々がひしめくように建っていた場所は土地改良整備が進んでおり、当時の景色とは全くと言っていいほど変わっているようであった。しかし、そんな中でも水平社博物館、水平社宣言記念碑、西光寺や、熱をもって説明してくださるガイドさんによるその姿勢から、「人の世に熱あれ、人間に光あれ」という水平社宣言の魂は、今も生き続け、私たちに問いかけてくる場所であると感じた。



水平社博物館外フィールドワーク



西光寺にて



鶴橋駅からコリアンタウンへ
コリア NGO センター職員の説明

2日目は、大阪市に移動し、コリア NGO センター職員のガイドのもと、鶴橋駅前から市場、そしてコリアンタウンを巡り、在日朝鮮人の歴史や文化について学んだ。

昼食後には、山門がリニューアルされた難波別院へ参拝した。

今回の研修は、普段中々話すことが出来ない他宗の方と懇親を深めることができ、大変有意義な研修となった。

研修会(公開)のおしらせ

詳細は、三重教区・桑名別院ホームページを参照ください

聖典基礎講座

- ◎期 日 4月11日(火)、6月20日(火)
- ◎時 間 13時30分～16時30分
- ◎会 場 三重同朋会館 ※ Zoomを使用したオンライン併用
- ◎講 師 高柳正裕 氏(学仏道場「回光舎」舎主)
- ◎テ ー マ 「仏に遇うー真実の自己・世界に遇うー」
- ◎参 加 費 3,000円(年間5回分)
- ◎申し込み 三重教区・桑名別院ホームページ <https://mie-betsuin.com/> から申し込みください。

社会教化小委員会 公開講座

- ◎日 時 5月15日(月) 13時30分～16時
- ◎会 場 三重同朋会館3階講堂 ※ Zoomを使用したオンライン併用
- ◎講 師 四衢 亮 氏(岐阜高山教区 不遠寺住職)
- ◎テ ー マ 「社会から問われる真宗門徒の私」
- ◎申 込 三重教区・桑名別院ホームページ：<https://mie-betsuin.com/> から申し込みください。
- ◎参加費 無料 どなたでもご参加いただけます。
- ※ 詳細は、三重教区・桑名別院ホームページを参照ください。

「是旃陀羅」問題に関する教区学習会 ※予告

第1回

- ◎日 時 5月26日(金) 13時30分～16時
- ◎場 所 三重同朋会館3階講堂
- ◎講 師 中山善雄 氏(三条教区寶國寺)
- ◎参加費 無料

第2回

- ◎日 時 6月21日(水) 14時～16時
- ◎場 所 三重同朋会館3階講堂
- ◎講 師 訓覇 浩 氏(三重組金藏寺住職)
- ◎参加費 無料

※ 来月号の当通信に、チラシを同封します。

育成員研修会

- ◎期 間 6月7日(木) 10:30～8日(木) 11:30
- ◎場 所 三重同朋会館3階講堂 ※ Zoomを使用したオンライン併用
- ◎講 師 梶原敬一 氏(真宗大谷派教学研究所元嘱託研究員)
- ◎テ ー マ 「僧伽に召される一同朋会運動の願い」
- ◎対 象 住職・教会主管者・坊守・寺族・門徒
- ◎参加費 3,000円 他弁当代及び布団代等実費
- ◎申 込 三重教区・桑名別院ホームページ：<https://mie-betsuin.com/> から申し込みください。

※ 詳細は同封のチラシもしくは三重教区・桑名別院ホームページを参照ください。

4月のテレホン法話

4月 1日～15日 …大谷 美樹（南勢2組西善寺衆徒）

4月16日～30日 …員辨依里子（員弁組 圓光寺坊守）

心をひらく

24時間 いつでも どこでも テレホン法話

☎ (0594) 23-6191

【教務所の事務休暇についてのお知らせ】

下記期間を教務所事務休暇とさせていただきます。

期間・・・4月26日（水）

事由・・・「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」三重教務所員参拝の為

緊急連絡先 桑名別院 Tel 0594 - 22 - 0652

Dialogue（ダイアログ・対話） — 教区教化委員会報告 —

○ 教化推進総務会

- ・3月6日に会議を開催した。協議内容は、「次期教区教化テーマ及び教区教化研修計画概要について」。5月31日で現在の教区教化委員の任期が満了することから、次年度の三重教区教化体制を含めた教区事業の方向性について協議した。特に、昨年10月8日に開催した、慶讃法要「教区お待ち受け大会」を受けて、その慶讃テーマを中心に据えながら次年度から3カ年の教区教化研修計画概要及び教区教化テーマを策定する。また、「教区慶讃法要」を見据えた2026年までの長期的な計画案を示しながら、教化体制を今後検討していく。

次回は、4月13日（木）午前10時から開催する。

○ 特伝推進本部

- ・3月3日（金）、三重同朋会館に於いて「四日市組特伝懇談会」が開催され、第11次特伝実施終了後の意見交換をおこなった。
- ・3月5日（日）、南勢2組慶法寺を会場に、南勢2組2部特伝本講座第2回（講師：三島清圓氏、補導：水谷総助氏・藤井温之氏）が開催された。次回は4月9日（日）、会場は桑名別院。
- ・3月14日（火）特伝本部会議が開催され、第12次特伝補導の選定等を協議を行った。

○ 寺族門徒研修小委員会

- ・ 3月23日に会議を開催した。まず、3月30日に開催する「得度義務研修会」について日程や役割分担を確認した。今年度は小学生8名の参加申し込みがあった。次に、6月7日～8日開催の「教区育成員研修会」について協議した。(チラシを同封)今年度は、コロナ前の日程で開催すると共に、オンラインで参加できるように準備を進める。真宗の仏事の回復に資する資料の作成については、昨年同様、「法語ポスター」を5種類制作するよう、今後、法語の選定作業を進める。また、教化推進総務会で協議された内容を確認した。今回は、5月16日(火) 13:30から開催する。

○ 社会教化小委員会

- ・ 3月24日に会議を開催した。まず、先般3月8日に開催した「ジェンダー問題学習会」の反省を行った。次に、5月15日開催の「公開講座」について、案内チラシや当日の役割分担を確認した。また、教化推進総務会で協議された内容を確認し、次年度の当小委員会担当事業について協議を行った。特に、1983年(昭和58年)より40年に渡り続けられてきたテレフォン法話(最初はダイヤル法話)については、途切れずに実施すべきとの意見から、次年度も継続して行うことを確認した。今回は、3年間の総括点検を行う。

○ 教学研究室

- ・ 研究室では「『第3回は施陀羅問題に関する教区学習会 講義録』輪読学習会」を2度開催し、取りまとめた意見を基に、講師を務めて頂いた中山善雄教学研究所研究員との攻究・協議を2月28日、京都・しんらん交流館にて「現地研修」として開催した。藤嶽室長並びに研究員8名と藤井駐在が参加。中山師は「『観経』は定善において本願の真実に出遇うところから、衆生の散善(善悪)の虚仮を知らされていくという展開です。それにより、自力を依り処とすることの罪を知らされ、仏説を聞く身になる『信』が与えられます。今回の教区学習会ではこのことに焦点を当てて学びたいと思います」と語られました。
- ・ 3月15日に月例会をオンライン併用で開催。研究員4名並びに藤井駐在が出席。藤嶽室長は講義の中で「『散善顕行縁』で説かれる散善の世界は、多様ないのちの関係であり、それは相対有限の在り方をしている世界であるわけです。何か利害が絡めば、親子であろうと敵対する。そういう世界を人は死ぬまで生きていかざるを得ないわけです。ならばそのことの上に、単に相対有限で終わることのないような「絶対無限」「真宗」「真の依り処」という世界が人に顕かになるかどうか。このことが大きな問題ですね。生きて行くのは徹底して相対有限の「この世」を生きるわけです。いのちといのちの関係を生きる。そういう存在以外の在り方はないのです。そこへ引き戻してくれる、そういう釈尊の眼差しであり、その苦悩の場所に韋提希の救いの道がいかに開かれるか、が説かれていきます」と示されました。

○ 教区坊守会

- ・ 3月16日（木）に役員会議を開催した。まず5月14日に開催する「東海連区坊守研修会」（三重教区担当）について、役割分担など詳細について協議した。次に4月11日開催の坊守会連盟主催「慶讃法要記念大会」の日に、新名神の集中工事があたるため、団参バスの出発時間を30分早めたことを確認した。また4月24日開催の委員会・「真宗門徒の集い」・7月24日開催の総会の事前準備について、打合せを行った。

「真宗門徒の集い」ご案内(教区坊守会主催)

6月14日開催の「真宗門徒の集い」の講師は、こども食堂やグリーフケアを長年継続されている酒井義一氏です。今月、案内チラシを同封しています。広くご門徒様にお声がけしていただき、是非一緒にお聴聞致しましょう。

書籍のご案内(東本願寺出版)

『Q&Aお経の？に答えます』

織田顕祐 著 165円（税込）

お葬式や法事場で僧侶が読み上げる、広大なお経の世界に一步踏み込むための基礎知識を、Q&A形式でわかりやすく紐解く小冊子。



『仏教ゆかりの植物図鑑』

大島加奈子 絵 松下俊英文
1,210円（税込）

蓮華や菩提樹をはじめ、仏典に登場する様々な植物たち。

そんな植物の名前の由来や、物語を、釈尊（お釈迦さま）の生涯をたどりながら、色彩豊かな絵とともに紹介。植物のみずみずしい世界と仏教の物語を味わう1冊。



今月の法語

私はしばしば仏を忘れるが 仏は私を忘れない
金井隆久

晴耕雨読（教務所員から）

駐在教導：藤井 晃世

先日、息子の卒園式に出席しました。

コロナと共にあった彼の幼稚園生活の終わりは、親としては非常に感慨深いものでありました。

コロナ禍で始まり、入園式にも出席せず、園での生活は常にマスク着用。パーテーション越しの給食。運動会をはじめとする各種イベントはクラス単位の分散開催。私たちがこれまで当たり前前に過ごしてきた他者との関わり方とは全く別で、小さい子が成長する過程では不便な思いだったと想像します。

彼が通っていたのは真言宗系の寺院が運営する幼稚園です。境内に隣接され、仏教行事にはお寺の本堂にお参りをし、お経まで称えるそうです。そして仏さまを「ののさま」と言い、合掌するという行為を覚えるようになります。

そんな幼稚園の卒園式に、園長先生がこのようなことを語っておられました。

「皆さん、これから困ったときには、皆さんの心の中にある“ののさま”にたずねてみてください。きっと、ののさまは答えてくれるはずです。」

挨拶の一番最後に語られた言葉です。恐らく、仏と共にある生活の大切さをお話くださったのでしょ。そのことが、その場にいる園児や保護者のどれだけの人に伝わっているかは図りしれません。けれども、式典という正式な場で仏の教えが語られ・聞くという「場面の大切さ」を耳に残ります。

核家族化が進み、仏間という空間がなく、限られたごく近しい親族のみの仏事。ともすれば、お墓に手を合わせることで、法語を聞いたことない人が多いのかもしれない。そしてそれは、今後も増えていくことでしょ。今や世代を超えた「大切なこと」にふれる場面はほんの僅か。そんな現代の私たちにとっては、「場」と「言葉」のもつ力はとても大きいのでしょ。だからこそ、袈裟を身につけ言葉を語る私たち僧侶は、現代でより一層重大な責任を背負っていることは優に想像できます。

話を聞く側、背中を見守る側に座って、色んな思いが駆け巡る1日でした。





日	曜	行事内容
1	土	慶讃法要(第1期)【3/25~4/8】
2	日	員弁組慶讃法要団体参拝
3	月	南勢1組慶讃法要団体参拝
4	火	南勢2組慶讃法要団体参拝
5	水	児連月例会 13:30-
6	木	南勢1組慶讃法要団体参拝 / 合唱団「ひかり」練習日 13:00-(別院本堂)
7	金	ホームページ企画要員会議 15:00-
8	土	伊賀組慶讃法要団体参拝
9	日	③ 南勢2組2部特伝本講座 10:00- / ①中勢2組特伝本講座 13:30-(於:法因寺)
10	月	三重同宗連役員会 14:00-
11	火	④ 聖典基礎講座 13:30- / 坊守会連盟慶讃法要記念大会 12:30-(於:真宗本廟)
12	水	仏青上山研修
13	木	教化推進総務会 10:00- / 子どものつどい団体参拝会議 13:00-
14	金	合唱団「ひかり」練習日 13:00-(別院本堂) / 教研月例会 13:30-
15	土	慶讃法要(第2期)【4/15~4/29】
16	日	桑名組2部及び三重組1部慶讃法要団体参拝 / ④南勢2組1部特伝本講座 10:00-
17	月	三講組慶讃法要団体参拝
18	火	中勢2組及び四日市組慶讃法要団体参拝 / 教区保護司会研修
19	水	桑名別院慶讃法要団体参拝
20	木	三重組2部及び3部慶讃法要団体参拝 / 合唱団「ひかり」慶讃テーマソング披露
21	金	長島組慶讃法要団体参拝
22	土	② 地域連続法話会 14:00-(於:浄得寺)
23	日	② 中勢2組特伝本講座 13:30-(場所:法因寺)
24	月	坊守会役員会 10:00- / 坊守会委員会 13:30-
25	火	
26	水	教務所事務休止
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	

① ご坊さんだより ② 育成員研修会チラシ ③ 社会教化小委員会公開講座チラシ ④ 真宗門徒の集いチラシ
 ③ 南座公演「若き日の親鸞」チラシ